



2025年1月16日

各位

会社名 株式会社テラ・ウェスタン・セラヒ° テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役 松原 さや子
TEL 052-218-8785

業績予想（連結・個別）の修正並びに特別損失（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月9日に公表した業績予想を修正いたしました。また、2024年12月期の個別決算において、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表（A）	400	△1,500	△1,510	△1,510	△47.00
今回修正予想（B）	471	△1,209	△1,228	△1,290	△30.99
増減額（B－A）	71	291	282	220	
増減率（％）	17.8	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2023年12月期）	428	△798	△796	△812	△25.56

2. 2024年12月期通期個別業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表（A）	400	△1,450	△1,450	△45.13
今回修正予想（B）	469	△1,178	△1,339	△32.17
増減額（B－A）	69	272	111	
増減率（％）	17.3	－	－	
（ご参考）前期実績 （2023年12月期）	427	△728	△853	△26.85

3. 修正の理由

売上高につきましては、眼科手術補助剤「DW-1002」の欧州・米国等のロイヤリティ収入が好調であることによる増加です。

利益面につきましては、研究開発費の使用が少なかったこと等により、損失が計画値に比べて縮小する見込みです。研究開発費の主な減少要因は、神経疼痛治療薬「DW-5LBT」の支払マイルストーンが発生しなかったこと並びに緑内障治療剤「H-1337」の臨床開発費用が見込みより少なかったことによるものです。

また、個別決算における当期純利益については、下記4. のとおり特別損失を計上しておりますが、費用の縮小が大きいことから、当期業績予想を上方修正いたします。

4. 個別決算における特別損失（貸倒引当金繰入額）

当社の連結子会社である日本革新創薬株式会社に対する貸付金について、同社の財政状態を勘案し、貸倒引当金繰入額100百万円を計上いたしました。

なお、個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上